

本校における実習日誌について

1. 記入例

○月△日（月）

学習場面	児童・生徒の姿	指導者の手だて および 考察
屋外作業 ・竹を切る	竹を切る場面で、山田くんは、のこぎりを持っていたが、すぐに切り始める様子は見られなかった。しかし、A先生の「どこを切ったらいいかな？」という言葉かけを聞き、周りの友だちの動きを見て、竹を切り始めた。 切り口をよく見て、切り終わるまで懸命にのこぎりを動かし続けた。切り終わると、とても満足そうな表情をしていたし、先生と力強くハイタッチをしていた。	A先生は、最初、山田君の様子を見守った後、言葉をかけた。山田君が線の上を切り始めたのを見て、「そう、そこだよ！」「やったあ！切れたね！」と笑顔で山田君にハイタッチをしにいった。 竹を見ると、切る部分にマジックであらかじめ印がされていた。また、同じ作業をする生徒を向かい合わせにして、動きが見えるようにしてあった。 A先生は線を引くという手掛かりと場設定をした上で、山田君はどう動くのかを見ていたのだと思う。次の手掛かりとして言葉かけをした。それによって山田くんは竹を切り始めたのだと思う。竹はこれまでの授業で何度も切ったことがあると聞いている。することが分かれると山田君は活動に集中することができるのだと思った。
生活		
<p>一日のまとめ</p> <p>新たな発見、教材研究で分かったこと、改善点（反省）、次の目標 など</p>		

2. 観察の視点

児童・生徒の姿	指導者の手だて
<p>○子どもの資質・能力が育まれていると思われる姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識及び技能（の基礎）」…子どもが「気づく」「できる」「分かる」等の姿 ・「思考力、判断力、表現力等（の基礎）」…子どもが「工夫する」「試す」「考える」等の姿 ・「学びに向かう力、人間性等」…子どもが「意欲をもつ」「がんばる」「粘り強く取り組む」等の姿 <p>○ものや人とのかかわり方（身体の使い方、姿勢等も含む）</p>	<p>児童・生徒の捉え方</p> <p>児童・生徒への接し方（提示、評価）</p> <p>全体指導と個々への指導の工夫</p> <p>教材教具の工夫</p> <p>場の設定</p> <p>など</p>

3. その他

- ・手書きの場合はA4の大学ノートに、ペン書きで記述する。（修正ペンの使用可）
- ・線は定規で引く。
- ・1日のまとめとして、感想と考察を記述する。実習終了後、実習全体のまとめとして、感想と考察を記述する。
- ・児童生徒名が記録されているので、取り扱いは厳重に注意する。特にワープロで記入する場合、コンビニなど、不特定多数の人が利用する場所でのプリントアウトは固く禁じる。
- ・実習日誌は、毎朝健康観察カードと共に担当教員に提出し、1日の終わりに受け取って退勤する。
- ・卒業後、社会人として求められる、基本的な事務能力につながる物として、ていねいに記入し、〆切りを厳守する。

- ・対象の児童・生徒の名前と顔を早く覚えましょう。